

米国防総省が、ウクライナでの秘密の生物実験の 証拠を隠滅

——ロシア軍が発見して告発

<https://www.infowars.com/posts/russian-military-accuses-pentagon-of-destroying-evidence-of-secret-biological-experiments-in-ukraine-pt-1/>

Kelen McBreen

March 7, 2022

⇒これは2部からなる暴露の一部

⇒次は、米基金による、ウクライナの生物兵器ラボとつながる、CIA とハンター・バイデンについて

日曜日の記者会談で、ロシアの防衛省スポークスマン Igor Konashenkov は、米防衛総省の基金による、ウクライナの生物研究所の職員が、この施設で実験中だった危険な病原体を、急いで破壊していたと主張した。

「キエフ体制の特別軍事作戦が行われる中で、ウクライナの米防衛総省施設の慌てふためく様子から、軍事生物プログラムのすべての痕跡を、隠そうとしている証拠が明らかになった」と彼は言った。

このロシアの軍事高官によると、この研究所の職員が、**2月24日**に、ウクライナ保健省の Viktor Liashko からの文書のコピーを手渡し、この研究資料のすべてを隠滅するように指令した。

「アメリカとウクライナによる、生物兵器禁止条項第1条への違反の事実が、露見するのを防ぐために、ウクライナ保健省は、すべての生物研究所に指令を送り、蓄えられていた危険な病原体を、緊急に廃棄させたのだ」と彼は説明した。

あるツイッターのアカウントで、英語の翻訳と共にこのドキュメントのコピーを提供している人が、もしペンタゴンが、過去においても現在でも、これら危険な病原体を扱っているウクライナの生物ラボを、財政援助していたのなら、生物兵器を禁ずる国連条項の第1条に抵触することになる、と強調した。

英語に翻訳されているこの通知は、全ウクライナの研究所職員に対し、これらの施設の「生物学的病原体を、緊急に、確実に破壊する」よう指令していると言われる。

このロシアの防衛報道官は、こう続けた――「特別軍事作戦を行った後で、ペンタゴンが、ウクライナの秘密生物実験が暴かれるのを、恐れるようになったのは明らかだ。我々は受け取った文書の分析の結果を、近い将来、共有することになる。その中でも、特にウクライナ保健省の、病原体の痕跡を隠滅せよという指示や、ハリコフやポルタヴァの生物研究所からの完全な証明書は、我々がいま公表しつつある。」

月曜日には、「放射能・化学・生物学防衛軍」のロシア軍主任 Igor Kirillov が、ペンタゴンの「防衛脅威削減局」の、キエフにおける 30 以上と言われる生物研究所について論じた。

このトップ・ロシア軍メンバーは、アメリカの会社 Black & Veatch が、このプロジェクトに関わっていることを指摘した。

常に先端を行く Infowars は、2015 年の「[なぜペンタゴンは、ウクライナに生物研究所を必要とするのか?](https://archives.infowars.com/why-does-pentagon-need-laboratories-in-ukraine/)」という記事で、Black & Veatch の生物ラボへの関りに触れている。

<https://archives.infowars.com/why-does-pentagon-need-laboratories-in-ukraine/>

ある日、ウクライナの生物ラボの職員たちが、証拠の隠滅を命ずる文書を手渡したと言われた後で、[アメリカ大使館のウェブサイト](https://archives.infowars.com/why-does-pentagon-need-laboratories-in-ukraine/)が、このラボの存在を記録する[ファイル](https://archives.infowars.com/why-does-pentagon-need-laboratories-in-ukraine/)を消去した。<https://archives.infowars.com/why-does-pentagon-need-laboratories-in-ukraine/>

しかし[この書類](https://www.infowars.com/posts/russian-embassy-claims-us-filled-ukraine-with-biolabs-to-genetically-target-russians/)は、政府のウェブサイトから、怪しげなやり方で除かれる前に、オンラインに[セーブ](https://www.infowars.com/posts/russian-embassy-claims-us-filled-ukraine-with-biolabs-to-genetically-target-russians/)された。<https://www.infowars.com/posts/russian-embassy-claims-us-filled-ukraine-with-biolabs-to-genetically-target-russians/>

呼びかけを続けながら、イゴール・キリーロフは、これらの施設で行われていると思われる研究の 1 つの側面は、遺伝子を特定する生物兵器を作り出すことだと説明した。これは[ロシアが数回も行っている告発](https://ba.n1info.com/english/news/russian-embassy-to-bosnia-accuses-us-of-wanting-to-genetically-destroy-russians/)である。<https://ba.n1info.com/english/news/russian-embassy-to-bosnia-accuses-us-of-wanting-to-genetically-destroy-russians/>

キリーロフはまた、ペンタゴンがその軍事生物プログラムを続けるのに必要なすべては、すでにウクライナから移管されていると言った。

ロシアの外務大臣は、木曜日、アメリカは少なくとも 2 つの新しい生物ラボを、ウクライナに建設していることを証明する、情報を得たと明かした。

参考記事：「ウクライナ炎上」：オリバー・ストーン**の爆弾ドキュメンタリーを、ユーチューブが検閲**

<https://www.infowars.com/posts/watch-oliver-stones-bombshell-ukraine-documentary-censored-by-youtube/>

参考記事：**確認：アメリカの資金援助による生物研究所が、危険な戦闘地帯に**

<https://www.infowars.com/posts/confirmed-us-funded-biolabs-in-a-dangerous-war-zone/>

参考記事：**米務省主張：ロシアは、ペンタゴンの援助によるウクライナ生物兵器研ラボを利用して、生物兵器「ニセ旗攻撃」を仕掛けるかもしれない**

<https://www.infowars.com/posts/state-department-warns-russia-may-use-pentagon-funded-ukraine-biolabs-to-unleash-bioweapon-false-flag/>

[訳者 Greatchain 解説]

2月25日の、我々のこの記事 <https://www.dcsociety.org/2012/info2012/220225.pdf> は、まだ仮説の段階にあった。今「米の運営するウクライナの生物ラボ」の実態が確実となり、それらがロシアの攻撃を予想して、大急ぎで、その30以上もの施設の持っていた病原体の廃棄を行っており、ペンタゴンによる、明かに犯罪的な、証拠の隠滅が行われたことが明らかになった。生物・化学兵器の製造や所持は、国連の禁止条項第1条に規定された厳しいものであり、それが単なる実験でなく、このように大規模な施設による計画であれば、なおされ絶対に許されない犯罪であることがわかる。(これを読むと、事実が過去のものであっても犯罪は免れないようだ。)

ロシアがこのように、国際的規則に敏感で厳格であることは、昔からの事例でわかる。この一事だけでも、ロシアの存在は国際的に、抑止力として貴重である。今、これを厳しく調査し告発しようとする国家は、おそらくロシアだけであろう。もしロシアがいなければ、この事実は誰一人、知りもせず関心もなく、近い将来に大惨事を引き起こすかもしれない。また大惨事が起こっても、人々は無関心かもしれない(中東ではそうだった)。新しい施設がまだ2つあると言われ、完全に毒物が廃棄されたかどうかは保証できず、また国連がどう反応するかもわからない。しかしロシアが責任を果たしたという事実は確実に存在する。

一体、ロシアを悪魔のように、ただの戦争好きのように言う人たちは、これをどう考えるのか？ ロシアは、生意気にも、そんな警察のようなことをした、とでも言うのか？ それは全く転倒した考えである。ロシアを倒そうとする者たちが何を企んでいるのかを、もう一度、勉強していただきたい。それは One World Government と彼らが言っているもので、誰でもない、人類を倒すための体制である。ロシアが倒されれば、傀儡のバイデン一味が祝福され、世の中がよくなるだろうとは、正気な人間の誰も考えない。彼らの夢想した体制が、誤算であったことを彼らはよく知っており、彼らに命令されるメディアもまた、わかっていてプロパガンダを繰り返している。

プーチンの語録として、外交交渉の場で、これまで最もよく使われてきた言葉は、おそらく「パートナー（シップ）」＝相互協力、相互繁栄であろう。そのようなロシアを、団結して悪魔化し、アメリカの命令（圧力）に従って、ロシアを少しでも苦しませるように協力するというのは、控えめに言っても、非常識で非人間的ある。そこから何か良い結果が生まれることは、決してないと知るべきである。